

(教育常任委員会)

公明 内海委員 [飯盛城跡の調査と国史跡指定について]

問 生駒山の山麓には貴重な文化財が多数のこされている。その中でも大東市と四條畷市にまたがる標高315mの飯盛山に築かれた「飯盛城」は、大阪府内でも有数の規模を誇る戦国時代の山城^{やまじろ}としてよく知られている。戦国武将であった三好長慶^{みよしながよし}は、この飯盛城を拠点に四国を含む近畿一円を支配したといわれている。地元自治体では、歴史の重要な舞台であった飯盛城跡の平成33年度の国史跡指定をめざすとともに、その保存と活用を通じた新たな街づくりなどを計画している。

しかし国史跡の指定は大変ハードルが高い。飯盛城跡の価値が国指定に相応しいものであることを証明する前提として、大阪府教育委員会による当地域の中世城館^{ちゅうせいじょうかん}悉皆調査^{しっかいちようさ}が不可欠であると聞いている。この悉皆調査とは、歴史資料や考古学的知見などに基づき、当地域にあった中世城館をすべて網羅する調査である。つまり国史跡指定は地元自治体の努力だけで実現することは困難であり、府教育委員会の積極的な関与が必要である。

そこで平成26年9月議会の一般質問において、飯盛城跡の価値に関する所見および国史跡指定をめざす取組みに対する府教育委員会の姿勢を教育長にうかがったところ、飯盛城跡には一定の歴史的価値があると考えられており、地元自治体からの正式な要望があれば、府教育委員会として中河内・北河内地域の中世城館の悉皆調査に着手することをはじめとして、今後の課題解決に向けた技術的・専門的見地からの積極的な支援を約束いただいた。

そこで、飯盛城跡に関する調査の進捗など現在の取組み状況と今後の見通しを文化財保護課長にうかがう。

(文化財保護課長)

- 平成26年10月に、大東市・四條畷市の市長より本府教育委員会に対し、飯盛城跡の国史跡指定をめざす取組みについて正式に支援要請を受けて以降、両市と連携しながら具体的な支援に努めているところである。

- まず城跡そのものの調査については、大東市、四条畷市が引き続き実施している。飯盛城は城を廃して以後 400 年以上の年月が経過し、いまだ不明な点が多い。その年代や構造、変遷を考古学、城郭史、中・近世史など多方面から専門的に分析するため、両市において平成 27 年度に学識者による専門委員会が立ち上げられた。現在、その指導の下で、城跡そのものの調査研究が進められている。

- 平成 27 年度において、府教育委員会では、大東市、四条畷市による発掘調査、ならびに 7 回開催された専門委員会及び協議の場において、専門的知見から指導助言を行うとともに、両市の要請と飯盛城跡の重要性に鑑み、中河内・北河内地域にあった中世の城及び館^{やかた}の悉皆調査を開始した。これは国において中世城館の史跡指定を行うにあたり、当該城館がその地域において抜きん出た価値を有していることを証明する必要がある、そのために都道府県による城館の悉皆調査の実施と報告書の刊行が求められているからである。この調査報告書がまとまれば、当該地域における飯盛城跡の位置づけ、評価が可能となり、大東市、四条畷市が実施する城跡そのものの調査成果と合わせることによって国史跡指定の実現に大きく資するものになると考えている。

- なお、発掘調査や測量調査については、国庫補助の対象であることから、大東市、四条畷市とも相談しながら文化庁に対して平成 28 年度の国庫補助事業の申請を行ったところであり、4 月には交付決定がなされる予定である。府教育委員会としては、現在、中河内・北河内の自治体より中世城館の既往の調査成果や資料を集め、整理しているところである。今後必要に応じて現地の調査をおこない、平成 28 年度末を目途に中世城館悉皆調査報告書を刊行するとともに、大東市、

四条畷市が行う調査研究を引き続き支援することにより、平成33年度国史跡指定の実現を両市とともにめざす。

<要望>

平成27年度より調査及び指導体制が整い、府と大東市、四条畷市が連携した取り組みが進められているとのことであった。今後の調査の進展に期待したい。

飯盛城跡は大阪を代表する中世の城跡であり、歴史教育資源として、また街づくりの核として保存と活用を進めていくことによって、地域の誇りを醸成するシンボルとなりうる貴重な文化財である。この飯盛城跡の史跡指定を一日も早く実現していくため、大阪府として悉皆調査を着実に進めるとともに、城跡そのものの発掘調査の指導、史跡指定に向けての諸課題の整理、国との調整等など府の役割を確実に果たし、今まで以上に大東市、四条畷市と十分に連携した積極的な支援をお願いしておく。

参考

平成28年度国庫補助事業申請

大東市 14,008千円（補助金7,004千円）

四條畷市 12,046千円（補助金6,023千円）